

半田市 蔵出し情報 報道機関提供資料

問合わせ	新美南吉記念館 館長 榊原 担当 遠山光嗣 0569-26-4888
------	---------------------------------------------

令和元年 7月 24 日提供 (事前情報・事後情報)

名 称	生誕 106 年「南吉さんの日」式典
日 時	7月 30 日 (火) 10 時 30 分～11 時 20 分
場 所	新美南吉記念館エントランスホール (半田市岩滑西町 1-10-1)
主 催	半田市・半田市教育委員会
趣 旨 (目 的)	7月 30 日は新美南吉の 106 回目の誕生日です。 また今年、南吉が安城に下宿して 80 周年にあたります。 そこで、今年の「南吉さんの日」式典は、安城市教育長と南吉が下宿していた大見家の当主夫妻をお招きして執り行います。 ぜひ、取材の上、ご紹介ください。
内 容	<ul style="list-style-type: none">・主催者挨拶 (半田市の鈴木慶光教育長)・来賓挨拶 (安城市の杉山春記教育長など)・下宿先の現当主夫妻による挨拶と詩の朗読・特製バースデー寿司ケーキ披露 (真砂本店)・合唱「明日」ほか (半田中学校合唱部)・献花・山桃ジュースで乾杯
担当者 情熱メッセージ	<ul style="list-style-type: none">・南吉が安城で下宿していた大見家の当主夫妻の大見博昭さん (67歳) とまゆみさん (62歳) が参加されます。詳しくは別紙をご覧ください。・南吉が甘党だったことに因み、毎年、市内の洋菓子店などが作ったバースデーケーキを披露してきましたが、今年は半田の「醸す」文化を PR しようと真砂本店 (半田市北二ツ坂町 2-15-3) が押寿司、巻寿司、稲荷寿司などを使って、特製のバースデー寿司ケーキを作ってくれます。どうぞお楽しみに!
別 紙	資料、生誕祭チラシ
写 真	式典の様子などをご提供します

半田市企画課広報情報担当
0569-84-0603



●下宿先の大見家と現当主夫妻について

- ・大見博昭さん（67歳）、まゆみさん（62歳）
- ・博昭さんは、南吉が下宿していた当時の家主、大見坂四郎さんのひ孫にあたります。
- ・南吉が下宿していた部屋は、戦後改装され、長く博昭さんの趣味の部屋になっていました。しかし、南吉生誕 100 年の前年(平成 25 年)に、博昭さんが私財を投じて南吉が暮らした当時のままに再現し、公開されています。
- ・まゆみさんは、学生時代には南吉の研究をしていて、偶然、大見家にお嫁に来られました。
- ・式典では、博昭さんが挨拶を、まゆみさんが「百姓家」を朗読されます。
- ・「百姓家」は、南吉が昭和17年10月5日に大見家の家族を題材に作った詩です。

百 姓 家

新美南吉

おきよよ この百姓家から
もれてくるハモニカの声を
誰かが風呂にはいりながら
ハモニカを吹いているのだ
ほら、湯気にくもった硝子窓に
小さいカンテラの灯が見えるだろう
あの灯の下でちゃぶちゃぶやりながら
吹いているのだ
何という奴だろうそいつは
風呂の中でハモニカを吹くなんて
だが僕にはわかった——この家には
若い者がいるんだ
そいつは、やんちゃで、夕飯を茶わんに十ぱいも食べ、
母親のことを馬鹿といい、
昨日おろしたばかりのシャツを
もう今日は破いてしまうという
やつなんだ
だが父親に叱られてもすると
ひどくしょげてしまって、
くらいくどばたにいる母親のところへ
ねだった金を半分返しに来るといった
やつなんだ
そいつはやんちゃで、馬鹿なこともするが、
夢が多くて、犬なんか可愛がっているのだ
そんな若い者がこの家にはいるんだ
こんな見すばらしいかやぶきの
百姓家だが、ここには明るい幸福があ
るのだ
おきよよ、この家の背戸口に
夕やみの中にほっている
茗荷のほのかなかおりを

●「南吉さんの日」とは？

新美南吉の誕生日(7月30日)をもっと広く知ってもらい、南吉に親しむ日としていくために、平成26年の誕生日に合わせて名称を公募・発表したもの。全国から応募された2,718点の名称の中から、南吉への親愛の気持ちが感じられるという理由で、市内小学生から寄せられた「南吉さんの日」が選ばれました。